

# 事後評価結果（平成30年度）

担当課：中国地方整備局道路部道路計画課  
担当課長名：吉田 真人

事業名	一般国道30号 児島・玉野拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局		
起終点	自：岡山県岡山市南区当新田 至：岡山県玉野市田井				延長	15.0km		
事業概要								
<p>一般国道30号は、岡山県岡山市から香川県高松市に至る延長約26.4km（陸上部）の主要幹線道路である。</p> <p>児島・玉野拡幅は、岡山県岡山市南区当新田から岡山県玉野市田井に至る延長15.0kmにおける現道2車線から4車線への道路拡幅事業である。</p>								
事業の目的・必要性								
<p>事業目的は、一般国道30号の交通混雑の緩和、安全・安心の確保、玉野市及び港湾拠点と岡山都市圏との連携強化、アクセス向上等である。</p>								
事業概要図								
事業の 効果等	事業期間	事業化年度 都市計画決定	S45年度 S50/H8年度	用地着手 工事着手	S45年度 S58年度	供用年 (暫定)	当初 - /H2年 実績 - /H25年	変動 1.1倍
	事業費	計画時 (暫定)	(名目) - / 約357億円 (実績) - / 約356億円	実績 (暫定)	(名目) - / 約357億円 (実績) - / 約348億円			変動 1.0倍
	交通量 (当線)	計画時 (暫定)	- / 21,500~52,000台/日		実績 (暫定)	- / 23,300~42,400台/日 (H27)		変動 81.5%
	旅行速度向上 (供用前現道-当線)	3.9 → 6.1 km/h (供用前年次 H9年度 (供用後年次 H29年度))		交通事故減少 (供用前現道-供用後現道)		186 → 116 件/年 (供用前年次 H8-24年 (供用後年次 H25-28年))		
	費用対効果 分析結果 (再評価)	B/C	2.0	総費用 677億円 事業費：592億円 維持管理費：86億円	総便益 1,357億円 走行時間短縮便益：1,311億円 走行経費減少便益：15億円 交通事故減少便益：31億円	基準年 H19年		
	費用対効果 分析結果 (事後)	B/C	1.03	総費用 1,008億円 事業費：922億円 維持管理費：86億円	総便益 1,041億円 走行時間短縮便益：996億円 走行経費減少便益：22億円 交通事故減少便益：22億円	基準年 H30年		
	事業遅延によるコスト増		費用増加額		- 億円		便益減少額	
事業遅延の理由								
特になし								

	<p>客観的評価指標に対応する事後評価項目</p> <p>①円滑なモビリティの確保 ・渋滞損失時間が削減した。【削減時間：1,210.1千人・時間/年】</p> <p>②物流効率化の支援 ・重要港湾である宇野港と岡山都市圏とのアクセスが向上した。【宇野港～岡山市役所：約80分→約52分】</p> <p>③国土・地域ネットワークの構築 ・岡山市～玉野市間の所要時間が短縮した。【岡山市役所～玉野市役所：約78分→約49分】</p> <p>④個性ある地域の形成 ・宇野港再開発事業（H3年策定、H14年度完了） ・宇野港にクルーズ船が入港、岡山県内の観光周遊を支援。【宇野港～後楽園：約77分→約53分】 ・当該事業の整備を見越して道の駅の立地を決定し平成8年度に「みやま公園」が開業した。</p> <p>⑤安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設へのアクセスが向上した。【玉野市役所～岡山赤十字病院：約63分→約40分】</p> <p>⑥安全な生活環境の確保 ・事業区間の死傷事故件数が減少した。【減少件数：約70件/年】</p> <p>⑦災害への備え ・緊急輸送道路ネットワークの信頼性が向上した。</p> <p>⑧地球環境の保全 ・CO2排出量が削減した。【削減量：約3.5千t/年、2,083.0千t/年→2079.6千t/年】</p> <p>⑨生活環境の改善・保全 ・NOx排出量が削減した。【削減量：11.5t/年、4,802.2t/年→4,790.7t/年】 ・SPM排出量が削減した。【削減量：0.7t/年、256.1t/年→255.5t/年】</p>	<p>他1項目に該当</p> <p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>特になし</p>
<p>の事業による環境変化等</p>	<p>環境影響評価に対応する項目</p> <p>環境影響評価の対象外事業である。</p> <p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>特になし</p>	
	<p>事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <p>・岡山県岡山市・玉野市の人口は昭和45年から平成27年まで増加【S45：574千人→H27：780千人】 ・岡山県岡山市・玉野市の自動車保有台数は、平成2年から平成27年まで増加【H2：388千台→H27：563千台】</p>	
	<p>今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性</p> <p>・児島・玉野拡幅は事業目的に見合った事業効果の発現が確認されており、今後の事後評価の必要はないと考える。 ・児島・玉野拡幅の整備により、交通混雑の緩和、安全・安心の確保、港湾周辺の企業活動の支援など一定の効果は得られているものの、起点部の岡山市南区当新田周辺で残存している渋滞については、引き続き岡山環状南道路による対策を進めていくこととしている。</p>	
	<p>計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性</p> <p>・同種事業の計画・調査にあたっては、沿線自治体の目指すべき姿（地域計画）と整合させ、経済、観光等の関係者から情報収集を行うなど道路整備による多面的な効果の把握に努める必要がある。 ・今後周辺道路整備が進みネットワークとしての効果も発揮することが期待されるため、引き続き社会経済指標やビッグデータ等データの蓄積に努める。</p>	
	<p>特記事項</p> <p>特になし</p>	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。